

井原市第6次情報化計画【概要版】

計画策定の趣旨

・「将来を見据えた元気なまちづくり」に向けて、急速に発展するデジタル技術を最大限活用し、従来の制度や組織の在り方をデジタル化に合わせて変革していく、社会全体のデジタル・トランスフォーメーション（DX）の取組が求められている。

⇒ 「情報化の基本的な方針や方向性を示す計画」が必要

計画の役割

・みんなにやさしい社会の実現を目指すため、進むべき方向を明らかにする。

⇒ 「市民・企業・団体に取組への参画を求めるガイドライン」となるもの

計画の期間

⇒ 令和5年度（2023年度）から令和9年度（2027年度）までの5年間

情報化の基本方針

- ・井原市第7次総合計画に掲げる目標と基本方針を反映し、更なる発展を目指す。
- ・デジタル化による利便性を実感できる情報化社会の実現へ向けて施策を進める。
- ・誰でも気軽にデジタル技術を活用できる機会を増やす。

笑顔があふれ輝くまち みんなにやさしい社会を実現するためのデジタル化

目指すべき情報化の将来像

- ・情報通信基盤や情報通信技術の活用で安全・安心・快適を実感できるまち
- ・情報機器や情報ネットワークを誰もが活用でき、さまざまな情報を共有することができるまち
- ・情報化を進めながらも「人と地域のつながり」などを大切に、地域が笑顔で活性化するまち
- ・デジタル技術を活用した生活環境を次世代につなげ、発展することができるまち

基本施策の体系・具体的な施策項目

基本方針

笑顔があふれ輝くまち みんなにやさしい社会を実現するためのデジタル化

基本施策

具体的な施策項目

施策1 情報通信基盤の強化・利活用

通信設備を活用するためのコンテンツ研究・整備

- 1) 情報通信基盤設備の利活用
- 2) 次世代高速無線通信等の推進
- 3) 公共施設のWi-Fi環境整備

施策2 市民サービスの向上・拡充

情報やサービスを、誰もが簡単に、様々な情報媒体から取得できる仕組み
安全・安心に向けた情報配信の充実

- 1) 行政情報の配信の充実
- 2) マイナンバーカードの普及・活用促進
- 3) キャッシュレス化の推進
- 4) 地図情報提供システム（統合型GIS）の充実
- 5) オープンデータ化の推進
- 6) 行政手続きのオンライン化
- 7) 保健・医療のデジタル化
- 8) 井原市ホームページの充実

施策3 地域産業分野の活性化・育成

地域産業の活性化や新たな経済・産業活動を生み出す地域の実現

- 1) 産業のDX支援
- 2) デジタル技術を活用した観光支援・魅力発信
- 3) スマート農業の普及促進

施策4 情報化社会に対応した人材育成

誰もがデジタル技術を活用できる能力の育成
地域の情報化を支える人材育成

- 1) 小中高等学校における教育・啓発
- 2) 学校のDX支援
- 3) 市民向けの教育・講習の充実
- 4) 学校・地域産業・行政分野におけるデジタル人材の確保・育成
- 5) 個人情報保護とモラルの向上

施策5 電子自治体の形成

事務の効率化や費用の削減
より付加価値の高いサービスの提供

- 1) 情報セキュリティの強化
- 2) 窓口業務のDX推進
- 3) 情報システムの標準化・共通化
- 4) 行政事務のDX推進
- 5) 電子機器等の効率化
- 6) AI・RPA等を活用した業務改善の推進